

2018年3月期 第1四半期決算に関する主な質問

2017年10月24日

セガサミーホールディングス株式会社

<2018年3月期 第1四半期の主な質問>

■全体について

Q：第1四半期実績が通期計画に対して進捗がいいが、その要因は？

A：遊技機事業において主力タイトル『ぱちんこCR北斗の拳7 転生』の販売が好調だったことや、エンタテインメントコンテンツ事業の各事業分野の業績が堅調に推移したことが要因です。

Q：通期計画に対して第1四半期の進捗が良いが、業績予想の修正はしないのか？

A：現時点で業績予想の修正はございません。遊技機事業において下期より各種規制等の変更が予定されていることから、市場環境等を慎重に見極めた上で、柔軟に対応する必要があります。

■遊技機事業

Q：通期計画に対する進捗状況や今後の見通しは？

A：通期計画に対しては順調な進捗となっております。第2四半期においては主力タイトル『パチスロ北斗の拳 新伝説創造』の販売を予定しております。一方で、パチスロ遊技機における自主規制の適用に加え、新たな規則改正等が予定されており、それらの影響を見極める必要があります。

Q：規則改正の話が出ているが、内容や影響は？

A：パチスロにおいて、2017年10月1日以降の新台設置から新たな自主規制が適用されるほか、2018年2月1日には風適法施行規則等の改正規則が施行されます。規則改正による今後の市場環境等への影響を慎重に見極めた上で、これら規制等の変化への対応を進める必要があると考えております。

■エンタテインメントコンテンツ事業について

Q：通期計画に対する進捗状況や今後の見通しは？

A：各事業分野が順調に進捗しております。今後の取り組みですが、第2四半期においてパッケージゲーム分野で新作タイトルの投入を予定しているほか、下期に向けてはデジタルゲーム分野において、複数の新作タイトル投入を予定しております。通期の見通しについては、それら新作タイトルの投入時期、販売・稼働状況等を見極める必要がございます。

Q：新作スマホタイトル『マジアレコード 魔法少女まどか☆マギカ外伝』の収益貢献はどれくらいか？

A：マジアレコード 魔法少女まどか☆マギカ外伝に関しましては、開発受託案件となります。そのため、今後はプロジェクトの収益配分に応じた形で収益計上されます。今後の継続的な収益貢献に期待しております。

■リゾート事業について

Q：計画に対する進捗状況や今後の見通しは？

A：屋内型テーマパーク(ジョイポリス)を運営する子会社の株式を一部売却したことを主因に、前年同期比で減収となりました。『フェニックス・シーガイア・リゾート』において大規模リニューアルや、各種営業施策を実施したことから、熊本地震の影響があった前年同期より来場者数が増加し、前年同期比で損失幅は縮小いたしました。また、当社持分法適用関連会社である、『パラダイス・セガサミー』において、2017年4月20日に韓国初のIR施設『パラダイスシティ』がオープンいたしました。引き続き各施設の取り組みを通じてIR(統合型リゾート)事業のノウハウ蓄積を行ってまいります。

Q：パラダイスシティの業績への影響は？またオープン後の状況は？

A：パラダイスシティ開業に伴い、初期費用等の発生を見込むことから、2018年3月期において営業外損失を計上する見通しです。オープン後の施設評価も良好であることから、引き続きプロモーション等の集客施策を実施し、施設稼働の改善に向けて取り組んでまいります。

以上

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。

従って、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。